

# バンドステアリング機能のOFF設定方法のご案内

## バンドステアリング機能とは？

現在、主流のルーターは2.4GHz帯域と5.0GHz帯域の2つの周波数帯からなる電波を出しています。どちらか片方の周波数帯に端末（タブレット、パソコン等）の接続が集中してしまうと、インターネットへの接続が混雑して安定しにくくなるため、自動で端末ごとに接続先を切り替えて通信を安定させやすくする機能です。

## バンドステアリング機能をOFFにするメリットは？

バンドステアリング機能には上記のメリットがありますが、一方で

- ① 2.4GHz帯域 ⇔ 5.0GHz帯域の切り替わり時に通信が途切れる（通信不安定を招く可能性）
- ② 5.0GHz帯域に接続された際に遠くの部屋で繋がりにくくなる

と言ったデメリットもあり、機能をOFFにして周波数帯の特性と利用場所に応じて手動で2.4GHz帯域、5.0GHz帯域を替えられるようにすることで安定した通信環境を構築できる場合がございます。

## WRC-2533GSシリーズ バンドステアリング機能 OFF設定 (1) 設定画面に入るまで

②

③

ログイン

http://192.168.2.1  
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

ELECOM 型番 : WRC-2533GS2

このシートは無線で接続するための重要な情報が記載されています。管理権以外の方に開洩しますと、不正アクセスなどの原因となります。そのため、設定後は第三者の目に触れないよう大切に保管してください。

かんたんセットアップシート (初期値)

SSID	2.4GHz/5GHz 共通	WiFi接続のアイコン
暗号化キー		
暗号化方式	WPA2-PSK	
ルーター管理画面アクセス情報 >		
IPアドレス	192.168.2.1	ログインID admin
パスワード		
< ルーター情報 >		
MACアドレス (WAN側)		シリアルナンバー

< さらさら引っこ越し機能用 >  
本機能を用いて他機種からの設定を転送した場合は、こちらのシールに情報を持って本体に貼り付けてください。  
※ 遠征ペンで書き込んでください。本製品が故障の際は、絶対に透かしを施さないでください。故障の原因となります。

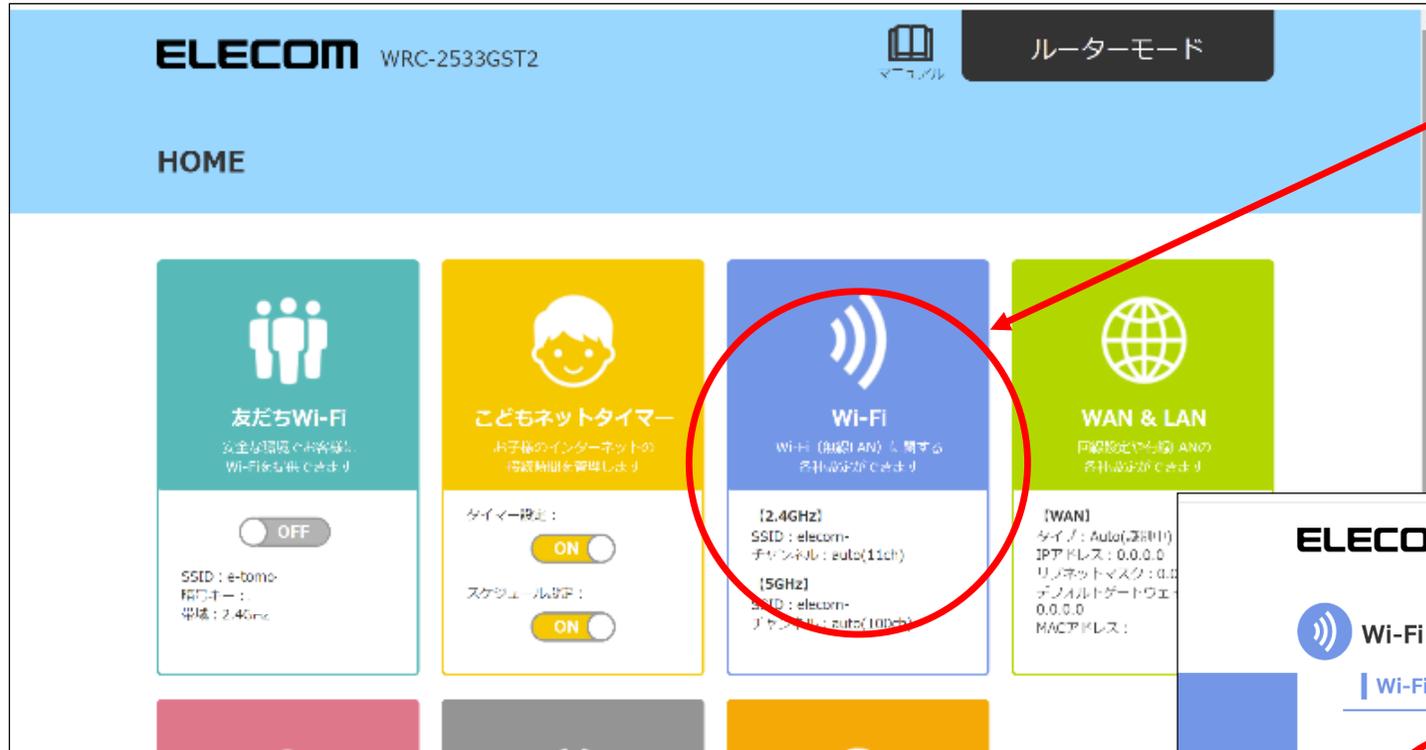
v03

① 端末（パソコン、スマートフォン等）をご自宅の無線LANルーターに接続します。  
※無線、有線どちらの接続でも可能  
※D-ONUに接続していなくても可能

② ブラウザを起動し検索バーで「192.168.2.1」と入力すると、ログインのためのポップアップが表示されます。

③ 「ユーザー名」「パスワード」を入力して、ルーターの管理画面にログインします。  
※ログインID（ユーザー名）とパスワードは付属の別紙、または機器本体に記載があります。

## WRC-2533GSシリーズ バンドステアリング機能 OFF設定 (2) 設定変更項目



④ 「Wi-Fi」を選択します。

⑤ 次に「メインSSID」を選択します。





⑥ 「バンドステアリングを有効にする」の**チェックを外します。**

※項目「SSID」の「xxxxxx」はお客様の利用されているルーターにより異なる英数字が入っています。



⑦ 「SSID」の項目で「elecom-(英数字)」に  
 ・2.4GHz帯であれば「-g」、「-2」等、  
 ・5.0GHz帯であれば「-a」、「-5」等を追記しま  
 す。

例. elecom-xxxxxx-g  
 elecom-xxxxxx-2

※「xxxxxx」はお客様の利用されているルーター  
 により、異なる英数字が入っています。

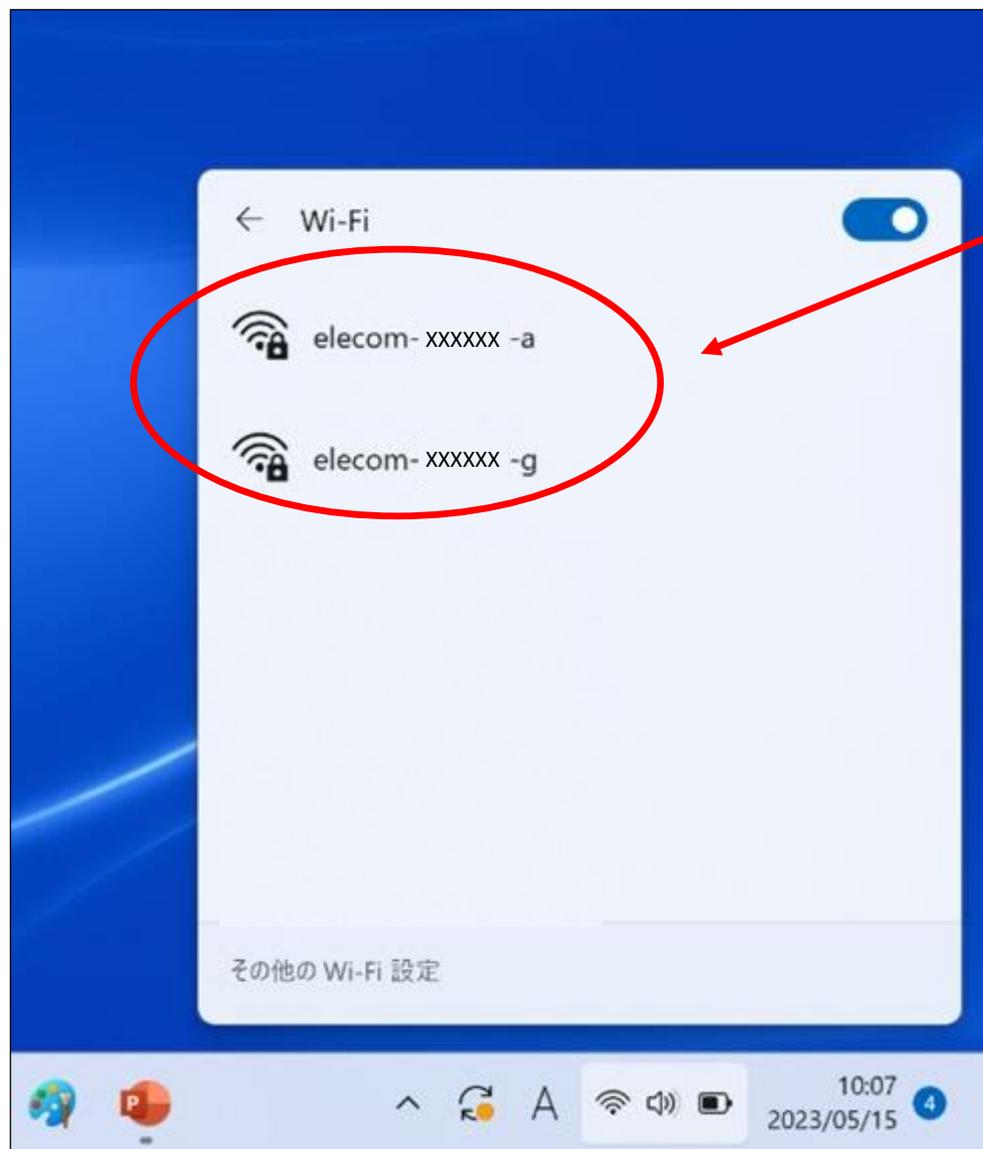
※バンドステアリング機能をONにする場合

①「バンドステアリングを有効にする」に**チェックを入  
 れます。**

②その後、「2.4GHz」の「SSID」のみ名称が変  
 更可能となりますので、追加した「-g」あるいは「-  
 2」等の文字を削除いただくことを推奨します。

⑧ ページ下部にある「適用」をクリックすると、その後、再起動します。





⑨ Wi-Fi接続設定の画面等でSSIDの一覧に「elecom-xxxxxx-g」や「elecom-xxxxxx-a」があることを確認してください。  
※「xxxxxx」はお客様の利用されているルーターにより、異なる英数字が入っています。